

第174回:精神的勝利法、今信玄、そして荷風

北京から出張で日本にやってきた金融界の劉君から聞いたはなしだが、彼は最近週末になると、知人の駐在員が帰任時に残していった日本のビデオ、DVDを鑑賞するのに忙しいと云う。その彼が観て吃驚したという芝居を教えてくれた。チンチクリンのさえない役者が主人公のコメディだという。そのチンチクリン君がドジを踏んでケンカになり、相手にボコボコにされたあと「よっしゃ、きょうはこのくらいにしといたるわ」と啖呵を切り、ケンカ相手がずっこけ、床に倒れ込むのがオチだという。云われてみれば、名前は思い出せないが、吉本新喜劇にそんな役者がいたような気がする。酒を呑んでベロンベロンになり、「小さいから酔うのも早いわ～。けど、さめるのも早いぞ」とギャグをかましていたあの・あ・あの芸人のことだろう、きっと。

中国人の劉君はこのドタバタ寸劇を見て、「おお！ 魯迅だ！」と感動したという。「もしかして『阿Q精神』のこと？」、「そうです、あれがまさに阿Qの『精神的勝利法』です」。辛亥革命のころの中国、ある小さな村に、阿Qというその日暮らしの日雇い労働者がいた。常日頃、村人からバカにされている阿Qだがプライドだけは人一倍高く、「精神的勝利法」と呼ぶ独自の思考法を持っており、村人から蔑まれ馬鹿にされても「オレは、昔からお前らよりよっぽど偉いんだ」と逆襲し、ケンカでボコボコにされても、結果を都合よく取り替え、心のなかでは自分の勝ちだと解釈していた。これが阿Qの「精神的勝利法」であり、魯迅が気も狂わんばかりに嘆いた当時の中国人の姿であった。かつては世界の超大国であった清帝国が、アヘン戦争を転機に世界中から侮られるようになり、列強が産業革命で国力を飛躍的に拡大していくなか、逆に清国は太平天国の乱で経済が破綻し、日清戦争で日本にも敗れる非常事態となった。その日清戦争の最大の敗因は清帝国の不甲斐なさであり、しかも屈辱を嘗めながら、「精神的勝利法」で自らを慰めるだけで、その総括をせず、傷口を更に広げてしまった。これが今でも中国の大きなトラウマとなっており、中国が海洋戦略と領土問題で日本やアジア諸国に容易に譲歩しない所以である。

結果的には日本の楽勝に終わった日清戦争であるが、開戦に当たり帝国陸軍は最高の布陣で臨んだ。現地派遣の第一軍司令官が山縣有朋、第二軍司令官は大山巖という切り札を最初から出した。その第一軍で山県司令官を輔佐する参謀長を勤めたのが小川又次少将、参謀副長が田村怡与造中佐である。このコンビは当時から陸軍の俊英と評価されており、日清戦争で実質参謀総長の役割を果たし日本を勝利に導いた川上操六中将(参謀本部次長)は、小川を「今謙信」、甲斐出身の田村を「今信玄」と呼んでいた。

帝国陸軍の頭脳であった川上操六が、日清戦争後に急死したあと、彼の衣鉢を継いでロシアとの戦争の作戦を練ったのが今信玄の田村であった。ところが勝てる見込みの殆どない対露作戦のシナリオを絶望感に苛まれながら、必死に知恵を絞って描き続けた結果、田村も日露戦争の前年に急死してしまう。ロシアとの戦争が避けられないと覚悟していた政府と陸軍は田村逝去の報に茫然なすところを知らず、桂太郎首相に至っては彼の棺を撫でながら「ああ、もったいないことをした」と泣いたという。田村の後を継ぐ能力のある人物は、次期首相と目されていた大物の児玉源太郎しかおらず、彼はやむなく降格人事を申し出て、参謀本部次長に就任し、これでようやく日露戦争の首脳陣が固まったと云う経緯がある。その田村怡与造中将

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

の一族には軍人が多く、娘婿3人は後に大将、中将、少将になった。

はなしは飛んで漱石・鷗外・谷崎と並ぶ大文豪の永井荷風のことを書く。荷風畢生の日記「断腸亭日乗」は、日本の大正昭和史と読むこともできるし、荷風の色恋日記と読むこともできる。格調高い漢文調の日記を一読すれば、荷風が大文豪であることがわかり、内容を熟読すれば、大粋人であったことも同時にわかる。ただ荷風は職場の女に手をつけるような不埒な真似は決してせず、花柳界専門であった。但し、荷風日記に数多く登場する美妓美玉のなかに一人だけ素人の女性がいる。女優のタマゴで、芸名が白鳩銀子、またの名を田村百合子という。荷風は将来日記を公開するつもりで書いたようだが、何かの拍子に中身が外に漏れることを恐れたらしく、日記の脚注部に小さな字で田村百合子、田村XX中将の三女と書き遺している。姓が田村の陸軍中将は、怡与造、沖之甫、守衛、義富と4人いるが、彼女の父親はそのなかで最も有名な今信玄田村怡与造であった。才気溢れる聡明さは父親譲りだが、奔放な女性でもあったらしく、主人が英国に駐在しているとき演劇の世界に飛び込み、荷風とできてしまったのである。尤も荷風も彼女が人妻だったとは知らなかったようだ。当時の日本には姦通罪という恐ろしい法律があり、北原白秋が市ヶ谷監獄にぶち込まれた前例もあり、憶病な荷風がそんなリスクを冒すわけがない。彼女はその後、英国駐劄の夫と離婚するが、彼女の当時の本名は本間智子、夫は参謀本部支那課から英国大使館付武官に転出した本間雅晴大尉、のちに太平洋戦争でフィリピン攻略戦を指揮し、戦後「バターン死の行進」の責任を問われ刑死した本間雅晴中将だ。もし荷風が、彼女が人妻で、かつその主人が陸軍軍人だと知ったら、肝っ玉と別の玉が縮み上がったろう。それにつけても、荷風の文章は素晴らしい。筆者だったら「銀座でメシを食った。そのあと、ストリップ劇場の楽屋を冷やかした。帰るとき、お月さまがきれいだった」と書くところ、荷風先生は、「銀座に鉢後浅草オペラ館楽屋を訪ふ。帰途片月あきらかなり」と雄渾な筆を揮う。これが駄文と芸術の差に違いない。百合子と結ばれる場面も、荷風はとぼけて描写している。友人たちと銀座で食事していたら、大雨が降ってきた。やむなく二人で近くの旅館に別々の部屋をとって泊まることにした。問題はその後だ。「余一睡して後厠に往かむとて廊下に出で、過って百合子の臥したる室の襖を開くに、百合子は褥中に在りて新聞を読み居たり。家人は眠りの最中にて楼内寂として音なし。この後のことはここに記し難し」。ふ～ん、トイレと客室を間違えたの？その後のことは記し難し？花柳界の女性であれば、「閨中歎歎すること頗妙」なんて書くせに、なかなか狸のじいさんだ。荷風散人このとき40歳。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年6月21日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。